

# 水稻生育情報 (No.1)

令和8年6月12日

茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門

(筑西地域農業改良普及センター)

## 【気象と生育の概況】

本年の5/1～6/10の気象は、日平均気温が平年より高く（平年+1.0℃）、降水量は多く（平年比142%）、日照時間は多かった（平年比110%）。

6月10日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」の生育状況は、草丈はやや高く、茎数・葉色は平年並みになっています。

表1 管内水稻生育調査結果（6月10日現在）

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	茎数 〔本/m〕	〔本/株〕	葉色 〔葉色板〕	〔SPAD値〕
筑西市	5月7日	50	39	401	26.5	4.8	41.8
一本松	(5月5日)	(53)	(37)	(348)	(21.7)	(4.2)	(40.9)
桜川市	5月7日	50	38	307	20.3	4.7	40.0
真壁町飯塚	(5月7日)	(51)	(33)	(296)	(19.2)	(4.5)	(39.3)
下妻市	5月5日	46	41	444	31.9	4.3	42.2
加養	(5月1日)	(46)	(41)	(416)	(29.8)	(5.0)	(42.7)

※( )内は令和3年～令和7年の5カ年平均値

## 【今後の栽培管理のポイント】

- 5月19日に気象庁が発表した「向こう3か月の天候の見通し（6月～8月）」によると、本年6月～8月の気温は全国的に高くなると予想されるため、高温による農作物等の被害防止に向けて栽培管理等に注意してください。
- 熱中症の危険性も高まりますので、高温下での長時間作業を避け、こまめな水分と塩分の補給や休憩を取ることに加え、単独での作業を避ける、家族や従業員等が定期的に巡回を行うなど、十分留意してください。

## <中干しについて>

### 高温の場合

過剰分けつや籾数過多が懸念されることから、中干しの徹底で適切な茎数にコントロールしましょう。

### 本年の生育

6月10日時点の「茎数は平年並み」ですが、中干しの適期を逃さないように、水田をよく観察しましょう（表2及び写真参照）。

### 中干しの効果

無効な茎を減らす。倒伏を軽減する。田面を固めることで収穫機械作業を行いやすくなる。

※中干し期間中は葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥（7月）まで待ちましょう。

表2 中干しの時期と方法（コシヒカリ）

開始時期	茎数330本/m <sup>2</sup> 程度となったとき（坪60株で18本/株、坪50株で22本/株）、田植35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合（葉色値で4.5以上）15～20日間 葉色が薄い場合（葉色値で4.5程度）10～12日
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期（幼穂長1～2mm、出穂の25日前頃）までには終了
中干し程度	田面に亀裂が生じ、軽く足跡がつく程度 水持ちの良い水田では強め、水はけの良い水田では弱めに実施



写真：中干し開始適期のコシヒカリ  
茎数 20 本/株程度

### <イネ縞葉枯病について>

感染すると葉が縞状に黄色くなり、分けつ期には葉先がこより状に垂れ下がり枯死したり(写真)、枯死しなかった茎でも穂が出すくんで奇形となり不稔となったりすることで減収につながります。

ヒメトビウンカ（以下、ウンカ）が媒介するウイルス病で、発病した後の対処法がないため、感染させないこと（ウンカを対象とした防除）が重要です。



写真：イネ縞葉枯病の症状

予測防除適期（5月29日現在）（茨城県病害虫防除部、病害虫発生予報6月号より）

アメダス地点（下館・下妻）では6月9日～6月17日と予測されています。

参考（気象データ：アメダス下館地点。平年値は1991～2020年の値。）

